

カスタムレザーキーホルダー

技術調達プレイブック



カテゴリーの定義



代替 素材ルート

精密な写真グラフィック
または透明効果が必要？ アクリルへ。

洗濯可能な柔軟性 または成形リリーフが必要？ ゴムへ。

ほとんどが金属で、小さなレザーアクセントだけ？

メタルキーホルダーへ。

乗り越える過去の「プレミアム」

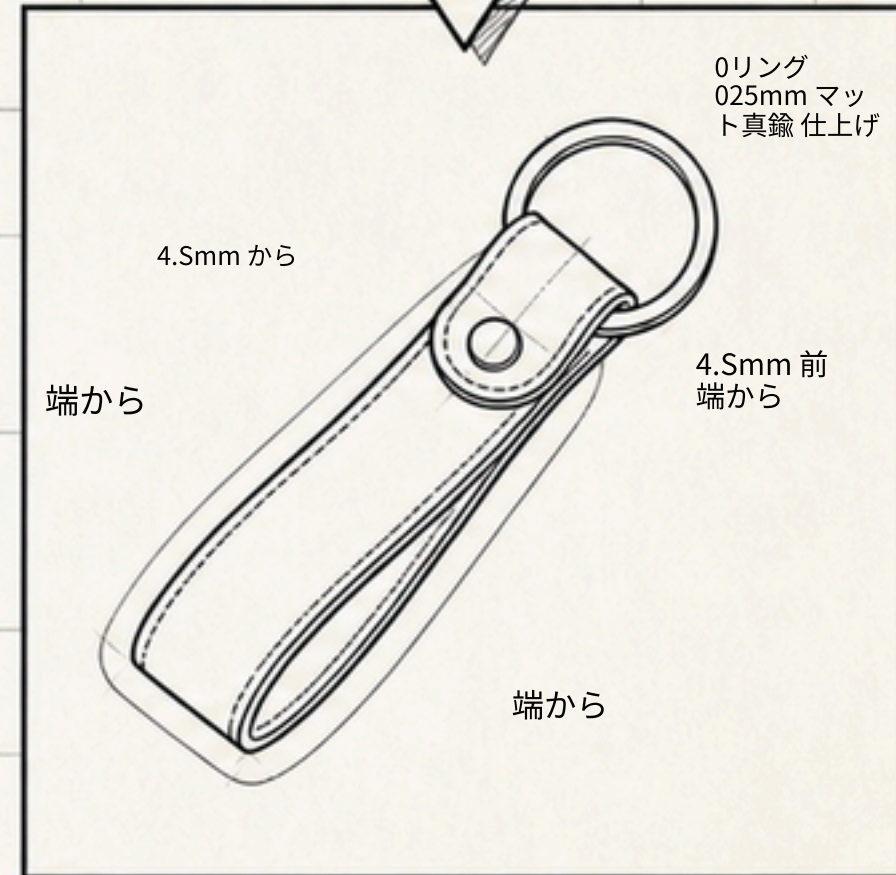
罣

「プレミアムレザーのキーホルダーが必要。」



解決策

「見積もり、アートワーク確認、素材試験済みの仕様が必要。」



コアガイドライン・購入者はサプライヤーに正確な素材構成の提案と特定を求めること。最終的な技術・商務上の確約には、見積もり、アートワーク、素材確認が必要。

厳格なルール: 書面確認なしに、革の等級、原産地、認証、寿命、公差、MoQ、価格、リードタイム、性能レベル、保証を主張しないこと。

素材判断マトリクス



本 革

外観:
自然なばらつきが大きい

一貫性:
革ごとに異なる

お手入れ:
コンディショニングが必要

コスト構造:
プレミアム/最高

表示:
原産地規則の規制対象



ボンデッド
ド 素材

外観:
均一なマット仕上げ

一貫性:
非常に一貫している

お手入れ:
拭き取り清掃

コスト構造:
中価格帯

表示:
革の割合 (%) を明記する必要



コーティ
ングスプリット

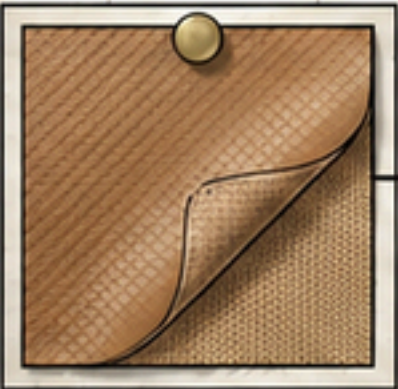
外観:
光沢/塗装 表面

一貫性:
色が一貫

お手入れ:
表面のみ 清掃

コスト構造:
中低価格帯

表示:
トップグレインとは主張できない



合成 代替素材

外観:設計されたテクスチャ
一貫性:完璧な反復
お手入れ:高耐久/洗濯可能
コスト構造:スケール依存
表示:ヴィーガン/フェイク分類

重要ポイント:

調達仕様では、これら四つの素材を 区別しなければならない。物理的特性と 法的な表示要件が 根本的に異なるためである。

分解図と構造



エッジ処理コンペンディウム



アクション指示: エッジの外観を明確に定義し、承認済みの現物リファレンスを要求すること。

表面装飾の能力



デボス



エンボス



箔



印刷



彫刻



金属エンブレム

アートワーク調整チェックポイント



- 細線（埋まりのリスク）
- 小さなカウンター（融合のリスク）
- 大きなベタ面（不均一な押印のリスク）
- メタリック仕上げ（剥離のリスク）

コアガイドライン:必ず確認

提案表面にどの方法が 適合するか。

ハードウェア統合仕様



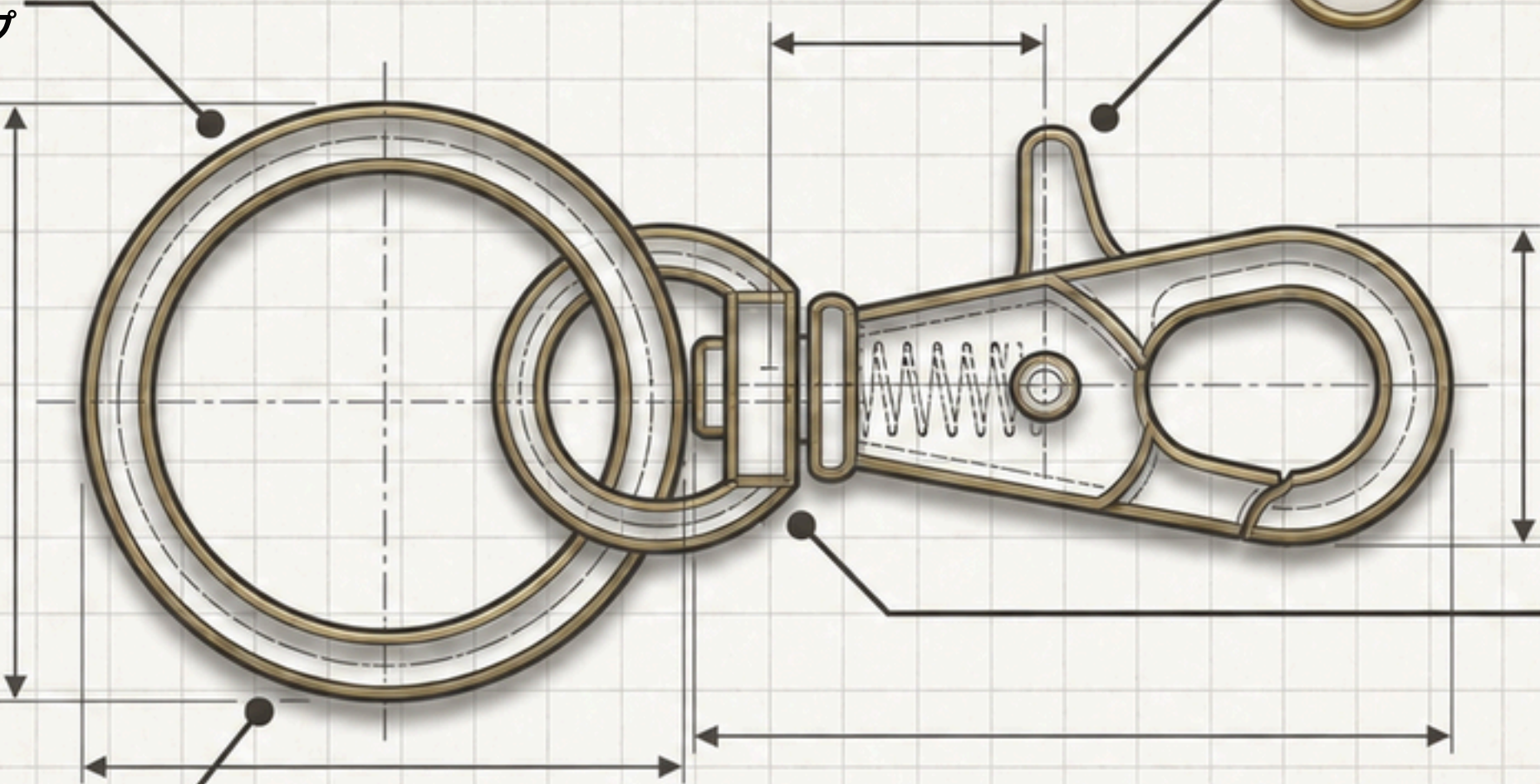
タイプ:
リング,フック,クラスプ



開閉アクション:
スプリング,ねじ,レバー



仕上げ:
メッキ,ポリッシュ,マット

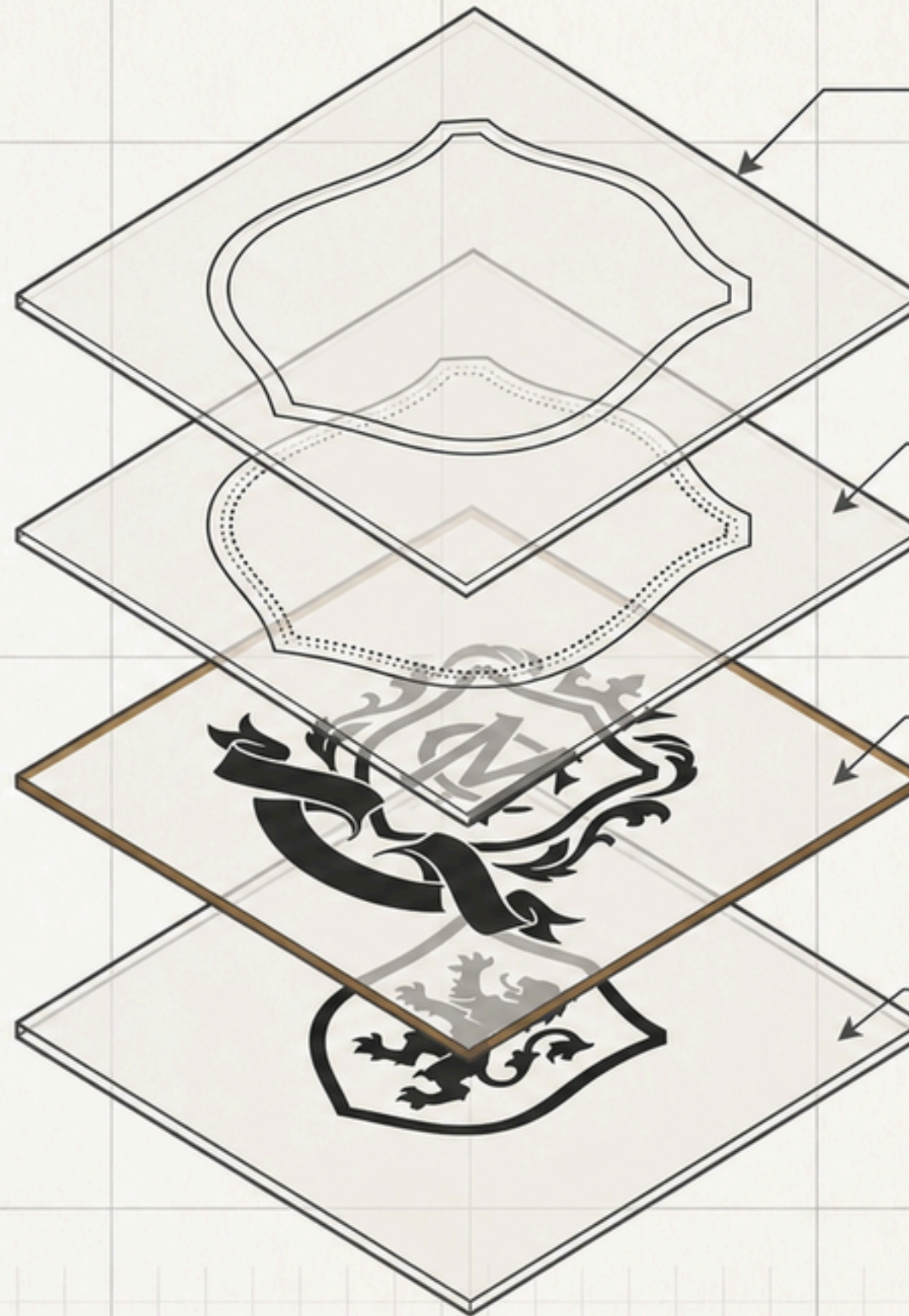
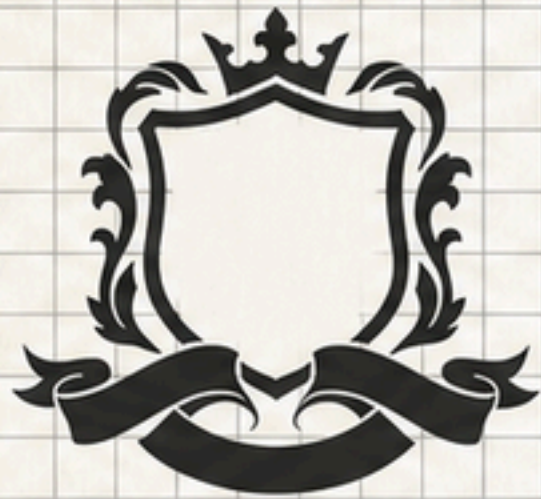


4. 取り付け
向き:
レザー本体に対してど
のように吊り下がるか



金属コーディネート:
箔またはエンブレムの仕上げ
と一致するか?

フライト前のアートワーク分離



レイヤー1:
カットパス&穴

レイヤー2:
ステッチ線

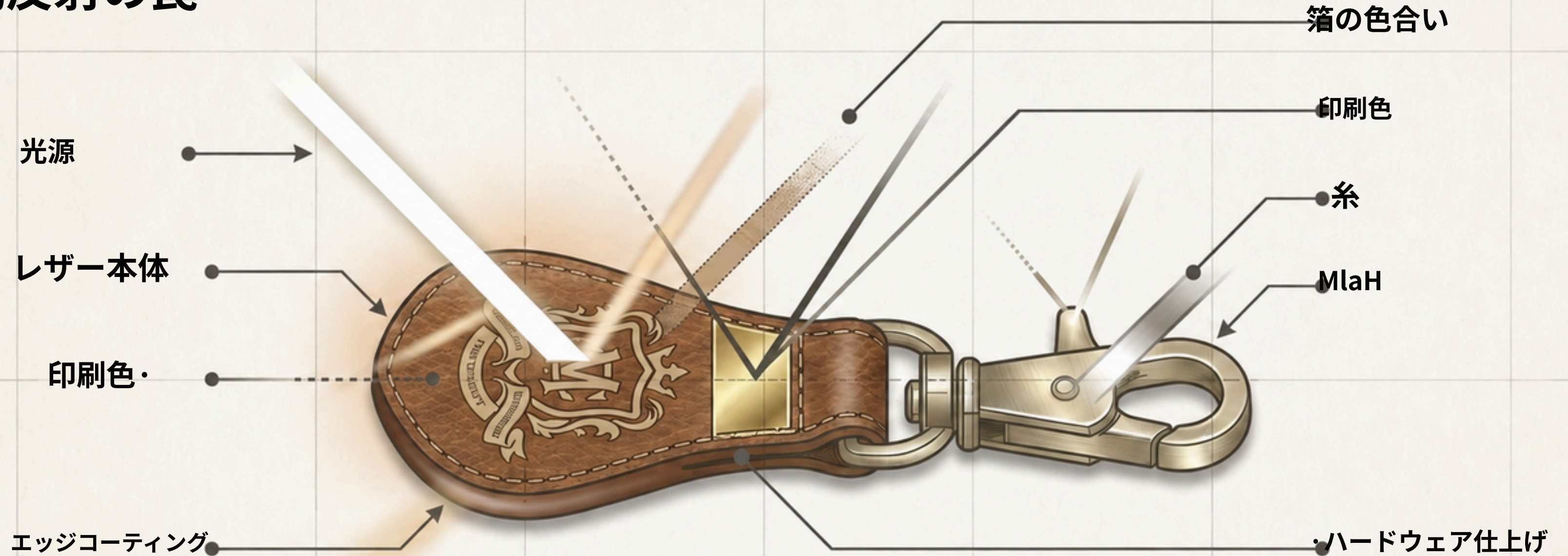
レイヤー3:
箔/印刷レイヤー

レイヤー4:
デボス/エンボス
レイヤー

レイアウト要件

ベクターファイルには、縮尺レイアウト、表裏の表示、折り方向、グレイン方向（該当する場合）、吊り下げ時の読み方向を含めること。最小線幅と文字の実現可能性を確認すること。

光反射の罨



重要なポイント:これらの素材は光の反射の仕方がそれぞれ異なる。デジタルのヘックスコードだけでは色合わせはできず、現物サンプルで評価する必要がある。基準値は提示するが、どの要素（例: レザーまたは箔）が真のブランドカラーの基準点であるかを優先して判断する。

受入れとコンプライアンスの定義

自然なばらつき

素材ロットや自然な模様が注文全体で色合いや外観に影響するかを確認する。レザー素材サンプルをエンボスし、注文全体で均一な仕上がりを保証する。

ルール: 自然な

ばらつきを欠陥とも保証された利点とも説明しない。承認済み素材と受入れ基準が存在するまで。



コンプライアンスチェックポイント
重要な表面、素材の同一性、堅牢度、ハードウェア性能、規制物質、表示要件はすべて現物サンプルと試験の確認が必要。

輸送リスクと梱包対策

危険:
擦れ& 移染



解決策:
個別 包装&
ティッシュ



危険:
金属と表面の 接触



解決策:
バックカード &
指定 向き



危険:
変形



解決策:
適切な袋と カートン
マーク



物流仕様: RFQにはデザインごとの数量、素材色、装飾、ハードウェア仕上げを記載すること。アソート、バーコード位置、ラベル、カートンマーク、仕向地、納品要件を定義すること。

RFQ統合8ポイントチェックリスト

☐	1. 本革、ボンデッド、スプリット、合成の素材希望を特定する。
☐	2. 本体形状、層、折り、ステッチ、エッジ、向きを提示する。
☐	3. デザイン、色、装飾、ハードウェア仕上げごとの数量を明記する。
☐	4. ベクターアートを提出し、各装飾工程を個別に示す。
☐	5. グレイン、手触り、色合い、光沢、エッジ、ばらつきの期待値を定義する。
☐	6. ハードウェアの種類、取り付け構造、動作、仕上げを確認する。
☐	7. 素材スワッチ、校正、構造サンプル、試験計画を要求する。
☐	8. 表示、個別梱包、アソート、カートンマークを定義する。

成功するRFQは広い素材名やライフスタイル画像ではなく、技術的な構造に基づく。最終確約には見積もり、アートワーク、素材確認が必須。